

教育・社会的活動に関する報告

1. 統計セミナー

松本聡子（お茶の水女子大学人間発達教育研究センター）

グローバル COE 研究プログラム委員会では、2008 年 6 月と 2009 年 1 月の二回にわたり、縦断研究のための多変量解析セミナーを開催した(担当:グローバル COE 研究委員会プログラム 菅原ますみ・室橋弘人・松本聡子)。

【第 1 回】「回帰分析とその関連手法」（2008 年 6 月 16 日・23 日・30 日）

●内容：重回帰分析と変数選択 ・ 非線形関数を用いた回帰分析 ・ ロジスティック回帰分析

第 1 回のセミナーでは、多変量解析法の中でも基本的な位置づけにあり、広範な領域において利用されている手法である回帰分析を取り上げた。分析を行なう際の留意点やソフトの使用方法など、実践的な内容の解説を行なった。さらに、縦断研究のデザインについて概略の説明を行なった。受講者は各日 30～40 名、のべ 113 名であった。



【第 2 回】「縦断データの解析:潜在成長曲線分析」（2009 年 1 月 19 日・21 日・23 日）

●内容：潜在成長曲線分析の解説と分析例の紹介 ・ 潜在成長曲線分析の解説 ・ 発達追跡研究の概要

第 2 回のセミナーでは、現在、世界中で実施されている主な縦断研究の紹介と、縦断データの解析に使用されている潜在成長曲線分析について、論文を用いた分析例の紹介とともに、実際の解析で使用するために必要となる基礎的な事項について解説を行なった。受講者は各日 10 名ほど、のべ 31 名であった。

